

題字
宮城県知事 山本 壮一郎発行所
仙台市上杉一丁目2番16号宮城県畜産会
電話(62-9180)編集発行人 百井 英一
定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



“犬年”

(撮影：県畜産課 大村 信氏)

もくじ

知事年頭にあたって	2
畜産会長年頭のあいさつ	3
宮城県産黒毛和種登録雌牛の動向	4
畜産物の市況	4
ヨーロッパの畜産事情隨想	5
牛を肝蛭から守りましょう!!	6
林地利用による肉用繁殖牛放牧の実証	7
よろこばれる老人牛飼い!!	8
人物紹介	9
隨想	9
賀春	10

年頭にあたって



宮城県知事

山本 壮一郎

明けまして おめでとうございます。

皆さまには、ご一家おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのこととよろこび申し上げます。

昨年は、二年続きの異常気象と台風豪雨の直撃に見舞われ、大きな被害をうけました。県を挙げて、その求済対策と不況の克服に取り組んでまいりましたが、内外ともにまことに厳しい一年でありました。

こうした中にありまして、県の機構の再編合理化、事務事業の見直しなど、国に先がけて行財政の改革を進めながら県土の基盤づくりをはじめ産業、経済、教育、文化、福祉など県政の各分野で見るべき成果をあげることができまして「新しいふるさとづくり」が一段と定着、進展を見ましたこと、まことにご同慶にたえません。

昭和57年は、東北新時代の建設が本格的にスタートする年であります。待望の新幹線の開業により中央との時間距離が短縮され、人的物的交流が盛んになることはもちろんであります。これを契機に、これまでの中央志向型から、地方が中央を呼びこむ方向での積極的な対応が必要であります。今こそ、地方でなければ求めることのできな

い個性豊かなふるさとの風土に根ざした魅力ある産業と文化の発展を目指すときであると存じます。

冷害に強い農畜生産体制の確立、高速時代にふさわしい観光開発、地場産業の振興、先端的工業の導入に一層の努力をいたしますとともに、昨秋開館しました美術館が、地方の時代の要請にこたえる芸術文化活動の拠点として、その機能を発揮することを期待したいと思います。

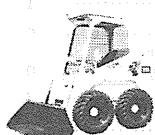
また、昨年は国際障害者年でありましたが、福祉の充実は一年で終るものではありません。私たち一人ひとりが、眞の福祉のあり方と果すべき役割を考え、今後ともキメ細かな福祉施策を推進し、みんなで創造する福祉社会をつくりあげてまいりたいと考えております。

私は、本年も県民の皆さまの英知をいただきながら、当面する難題の解決をはかり、21世紀への道筋を確かなものにしてまいる決意であります。

どうか、活力に満ちた理想の郷土づくりに一層のご理解とご協力を願い申し上げる次第でございます。

年の始めにあたり、県民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし新春のごあいさつといたします。

TCM東洋アチャットローラー



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

**TCM 東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社**

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-95-5517-5511

牧場用柵には
強くて美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元	東伸製鋼仙台営業所	TEL 277053
販売元	塙本商事機械株東北出張所	TEL 627771
代理店	本山振興株式会社	TEL 046221
	仙台市昭和町6番10号	

年頭のごあいさつ



宮城県畜産会長

百井 英一

明けましておめでとうございます。

皆さまには、ご一家お揃いで、新らしい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

かえりみますと、昨年は、農業生産者にとってかつて経験したことのない多難な年がありました。過剰基調を強める米の生産調整下における二年続きの冷害、財界を中心とする農業保護政策見直し論の再燃、加うるに貿易摩擦による外国農畜産物の輸入圧力の強化等々、内外から押し寄せる圧力に揺れ動いた一年ありました。

一方、畜産においても、豚肉や生乳価格の据置きのなかでの資材費の高騰や、長期化する不況からくる畜産物の消費の伸びなやみなどの厳しい条件をふまえて、畜産農家は、計画生産への取り組みと、経営体質の改善の方向を真剣に模索した年でもありました。

さて、今年は農業とくに畜産にとってとりわけ重要な年になると思われますが、昨年末、政府は57年度政府予算案を発表いたしました。これによりますと、農林予算は前年度当初のわずか0.2%増という超圧縮型ですか、補助金を整理、統合・メニュー化した新地域農業生産総合振興対策と、

畜産総合対策の二本の目玉事業を誕生させています。

その意図するところは、地域農業を再編し、重点的、効率的な施策を講ずるとともに、農業者の創意工夫を生かした、生産性の高い農業を確立することにあると思われます。

これにともなって、畜産会が行なっておりました従来の各種診断指導事業も、経営技術高度診断指導事業として統合され、電算機利用の診断システムを採用するなど、効率的な対応をすることになっております。

また、本会では、昨年から新たに発足した子豚需給調整対策事業のお世話をすることになりました。この事業は、豚肉や子豚の需給状況に応じて、子取り用雌豚のと殺または導入を奨励し、養豚経営の安定をはかることを目的とした一種の基金制度であります。関係者の深いご理解とご協力によりまして、既に3万頭の加入申込を達成することができました。誌上をかりて厚く御礼申し上げる次第であります。

多難な昭和57年を迎える、畜産会は、その本来の仕事であるコンサルタント事業や、関連する指導事業を通じて、地域農業の発展に微力を尽す所存でありますので、関係者の方々のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆さま方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンプ

マイティーリーズ
スラリーポンプ
チョッパーポンプ
ノンクロポンプ
ヒドロススリン

ヒドロポンプ 発売元



株式会社 東北加藤

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL. 0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きもの

Mr. 3000 牧草梱包

Mr. 2000 稲わら梱包



THB 2000

スター農機株式会社

仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
TEL. 0222-58-7301

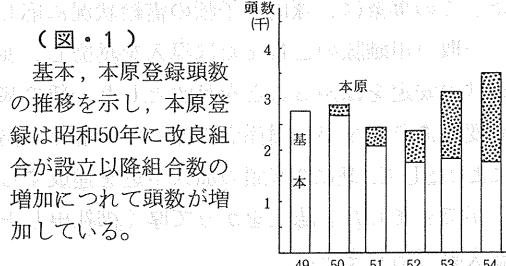
宮城県産黒毛和種登録雌牛の動向

宮城県畜産農業協同組合連合会

本県の和牛生産は目覚しく、体型や資質においても著しく改良され、移入された他県産と比較しても優れていることが、この程 東北大 水間教授 山岸助教授 宮城農業短大 内田助教授の調査によって明らかにされた。以下調査結果を記す。

調査対象は昭和49年度以降、54年度までの登録雌牛全頭数を用いて、体各部位測定値と審査成績の年度による推移を分析し、体型上の改良を明らかにしようとしたものである。

宮城県産黒毛和種登録雌牛の動向



(表1)

登録雌牛の移入県別割合を示し、昭和54年度に於ては宮崎県、兵庫県の導入が目立っている。

表1 登録雌牛の移入県別割合

年度	49	50	51	52	53	54
移入県	%	%	%	%	%	%
宮城	41.2	49.5	61.3	59.4	52.5	51.4
宮崎	14.6	10.3	5.8	8.9	7.3	11.6
鹿児島	7.7	8.7	11.2	10.5	8.1	5.7
岡山	7.1	6.7	2.3	0.9	5.9	4.6
岩手	6.7	7.4	7.7	8.4	6.6	7.0
兵庫	4.8	4.0	1.4	0.5	6.3	10.8
広島	4.4	4.7	2.8	4.1	5.7	3.1
その他	13.5	8.6	7.5	7.3	7.5	5.9

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

◎小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198(26)4151(代)

古川営業所 宮城県古川市稻葉字大江向179-1
TEL 02292(3)8888代

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

(図2)

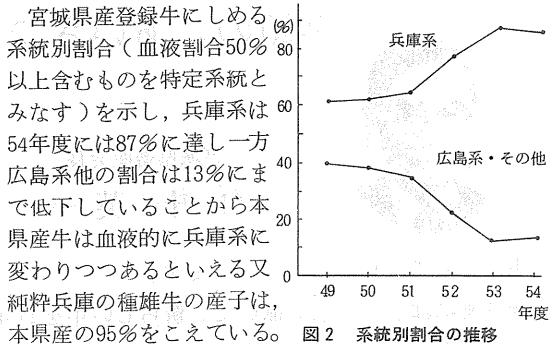


表2 宮城県産登録牛の体測定値および審査成績

年度	49	50	51	52	53	54
体高	122.2	122.6	122.7	123.5	123.9	123.7
胸囲	174.0	173.7	174.6	176.3	177.2	177.6
脇巾	43.7	44.6	44.0	44.4	44.5	44.8
得点	77.5	77.7	77.9	78.0	78.3	78.7
体積均称	22.6	22.5	22.4	22.3	22.0	21.6
資品位	22.1	21.6	21.3	21.0	20.7	20.2

体測定値(24ヶ月令補正)cm、体均、資品位、減率%

(表2)

宮城県産登録牛の体型は54年には49年に比較して、体高で1.5cm、胸囲3.6cm、脇巾1.1cmの増となり大型化している。同様に得点でも高く、体積均称、資品位においても改善されている。特に資品位の減率で2%の向上があったことは注目に値する。(堀江)

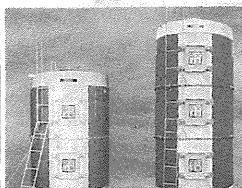
畜産物の市況

種	目	規格	単価	価格	摘要
卵		1kg	405円	卸売価格12月平均	
ブロイラー	A級	と体1kg	300	"	
	上枝肉1kg	657	"		
豚肉	中	"	614	"	
和牛メス	上	"	2,312	"	
牛	"ヌキ	上	2,215	"	
"ヌキ	中	"	1,901	"	
肉乳牛メス	中	"	1,393	"	
"ヌキ	中	"	1,352	"	
和牛子牛	1頭	388,407	11月10日小牛田市場		
子豚	"	24,930	12月25日	"	

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格……県経済連調べ
和牛子牛、子豚……県畜連調べ

* 肉用牛の飼養に是非サイレージを

* 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオンミニスター

OSM-10 10m³
OSM-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

ヨーロッパの畜産事情隨想

高橋 富

今回大規模畜産農家代表によるヨーロッパ畜産事情研修に随行した感想の一端を紹介致します。

期間は10月下旬から11月にいたる13日間で、とくに北海道の緯度と同じようなヨーロッパ各国（デンマーク・オランダ・イギリス・西ドイツ・フランス）のことを考え冬仕度で出かけました。

16時間の空の旅でやっとついたハングルグ、日本より寒いものと思いましたが暖冬ではっとする。

当日デンマークに飛び翌日から研修をしたのです。

〔最初の国 デンマーク〕

人口500万人最大標高173mで四国位の面積は平坦な土地と云えます。粘土・砂地の混在するなかでは耕種作物は麦類とわかりました。平均農地は一世帯当たり2.5haといつておりますが日本と違いせまい国土でも有効面積に大きな差があることが解り納得しました。畜産では乳牛・養鶏・養豚肉牛となっており最近豚の改良が盛んに行われているとのことです。それは輸出を考えたもので内需は40%となっているようです。品種の改良は国家農業研究所が担当し農協中央委員会で推進上の施策を樹てるようになっています。

委員会の中には、コンサルタントと獣医師が生産農家の技術、経営指導にあたり一貫した活動がなされるといえます。デンマークは協同組合活動の発祥地でもあり農業関係は98%組合員として組織化され、すべての生産を含む流通活動がそれぞれ機能分担されているところに大きな特徴があり見習うべきと思いました。又肉豚農家を視察したとき54年に日本の養豚家が経験した過剰生産と同じ状態を招ねき困窮したといっており、日本だけでなくことを感じました。

肉豚では、今後の輸出向等を考え品種改良・経営の合理化を盛んに検討されております。又農家の生活は

非常に苦しいと云っております。理由は、借入金利が22%と高く、税金が46%付加されるためといつております。

平均所得戸当り1か月44万円（日本円に換算）位とか……。しかし福祉国家としての誇りがあるので我慢もするし苦痛との考えはあまりないようです。

〔オランダ〕

世界最大の人口密度をもつオランダの農地は碁盤の目をした縁りの大地と云える。デンマークその他をしのぐ有効面積は最大であることを証明している。

郊外はポプラ並木そして自転車専用道路が整備され連棟式アパート群の部屋部屋は花の展示室のように映った。畜産では、土地の広さと規模の大きさだけが目につく。生産技術、衛生管理には、あまり神経を使わず、さらに公害の心配は日本と全く異なり、日本の經營採算面を含め比較することができません。

将来貿易の自由化と国際競争に太刀打ち出来る畜産業として研究中の農場に興味があったので輪郭を紹介して見ます。

名称 オランダ畜産試験農場

実質的な研究で農家の技術的なものを引き出し問題の解決等指導を行う機関になっております。

研究科目

コンピューター・サイロ・省エネ・土壤の四科

ユニットその1 作業員1名

乳牛 220頭年間乳量 7,200ℓ（1頭当り）

ユニットその2 作業員3名

肉牛 180頭・乳牛 190頭年間乳量 6,900ℓ

これは本格的に研究してから2年位であり、今後3~4年後に経営分析等採算を考えた一般普及の是非について調査分析資料ができるとの解答を得ました。

紙面の都合で半端になりましたが投稿させていただき感謝申し上げます。

（県経済連畜産部長）



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL883121
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL494306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL240963
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300



こくておいしい大型びん…

森永
ハイカラウニ牛乳
宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂字山居
TEL 02238-4-5181

かんてつ 牛を肝蛭から守りましょう!!

仙台家畜保健衛生所

肝蛭という寄生虫によって起る肝蛭病は、世界各地に広く分布し、牛、綿山羊などの反芻家畜をはじめ、兔、鼠、野獣、人など多くの動物に感染し被害を与えています。わが国では、飼養形態からみて牛の経済的損失が特に重要な問題になります。わが国の牛における肝蛭の主な感染経路は、稻わら付着肝蛭メタセルカリヤ(MC)と考えられ、基幹作物である稲作と密接な関係にあると同時に、近年環境保全を目的に農薬規制などが強く実施され、その結果肝蛭の中間宿主であるヒメモノアラガイの生息に好条件を与えることになり、今後、肝蛭の蔓延が懸念される現況にあります。

肝蛭の寄生状況：わが国の肝蛭の寄生率を「家畜衛生統計」でみてみると、昭和30年は17%、農薬大量使用期の昭和42年には10%に減少し、農薬規制初期の昭和50年は11%と横這いであったものが、現在では18%にも上昇しています。宮城県内の寄生率については、断片的な報告しかありませんが、昭和35年、県綿羊連の郷内らが県内各地の綿羊の寄生率を11%と報告しており昔から浸潤していたことがうかがわれます。近年では、昭和53年、仙台家保が仙台市の牛を18%、昭和57年、石巻家保が北上町の乳牛を24%と報告しており、県内も全国とほぼ同様な寄生率にあると思われます。

肝蛭の被害：肝蛭は図1のように、卵が化しヒメモノアラガイの中に入り発育して、感染MCになり稻に付着し牛に喰べられるのを待ちます。牛に喰べられたMCは、腸壁を喰い破り肝臓にとりつき、肝臓内に侵入します。侵入1ヶ月間は、幼若虫として肝臓内を喰い荒し、肝臓を穴だらけにしながらぐんぐん成長します。この時代に肝臓の小さい兎や綿羊は急性肝蛭病

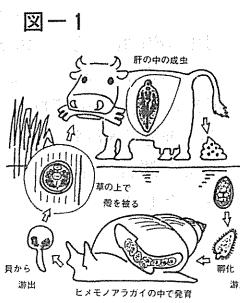


図-1

として死んでしまいます。肝臓の大きい牛では、死ぬことはまれですが、肝硬変という慢性病になります。その後は、幼若虫が成虫となり、胆管の中に入りこみ、胆管炎という病気を併発します。肝硬変も胆管炎も牛の栄養障害を引き起し、外見上は貧血、削瘦、被毛粗剛などの症状としてしか現われませんが、実際には体内の栄養工場破壊のため、乳量減少、飼料効率低下、繁殖障害などの原因になり、その上他の病気にかかりやすくなったり、病気が快復しにくくなったり、目にみえない経済的損失は非常に大きいものです。

牛を肝蛭から守るには!!：肝蛭を撲滅するためには、大きく別けて、肝蛭の駆虫、虫卵の殺滅、ヒメモノアラガイの駆除、MCの殺滅の4方法が考えられます。

1 駆虫薬の効果：わが国で現在行なわれている方法は、駆虫薬使用が主流です。しかし、近年研究が進み、この方法には、問題があることがわかつてきました。その第1は、現在日本で市販されているおおかたの駆虫薬は、被害の大きい幼若期には効果がなく病勢を抑えることはできません。第2には、排卵抑制効果は十分認められます。後で再発する可能性があります。第3には、肝蛭の感染時期は8月から次年4月までの長期にわたり、この間数回の駆虫をしなければ効果がなく、かつ集団一齊投薬が必要で、薬剤残留の危険も考えねばなりません。

2 虫卵の殺滅：肝蛭卵は、熱、アンモニアなどに比較的弱く、牛糞を完熟させれば、虫卵は簡単に死滅します。しかし、現実には野積みからの水田へのたれ流し、未熟堆肥の施肥等により、虫卵は容易に水田に入りこみ、感染源となっている現況です。

3 ヒメモノアラガイの駆除：昭和53年、仙台家保の調査によると管内水田の70%にヒメモノアラガイが生息していると報告しています。ヒメモノアラガイ自体は、薬剤に対して比較的弱い生き物です。しかし、この貝は、薬剤が来ると、土にもぐったり、泳いで逃げてしまい野外での駆除は絶望的です。これは農薬大量使用時代にも生き残ったことで証明されます。

4 メタセルカリヤ(MC)の殺滅：MCは抵抗性が強く、簡単な乾燥や薬物では殺滅出来ません。しかし、

飼料は

みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事
さく井工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222) 93-2461

野外での生存期間をみると、8月に稻に付着したMCは、感染力を徐々に低下させながら、12月までには大部分が死滅し次年4月まで若干しか生き残りません。強制的に殺滅するのは稻わらサイレージは有効です。一方利用する稻わらにMCの付着の有無の検討は、非常に困難で動物実験以外方法はありません。

おわりに

以上肝蛭に関する概要について述べましたが、牛を肝蛭から守るためには、定期虫卵検査により実態を把握した上で、稻わらの12月以降利用を中心に、完熟堆肥の利用、効果的駆虫の実施を組合せていくことが肝要です。この方法を実行し牛の生産性の向上を、心から祈念いたします。(病害鑑定課 佐藤裕一)

＜畜試便り＞ 林地利用による肉用繁殖牛 放牧の実証

1. まえがき
造林地の畜産の活用を促進するため、肉用繁殖牛を植栽地に放牧するとともに子牛に対するクリープフィーディングを実証し、農家普及の参考にした。

2. 試験方法
(1) 試験期間 昭和56年5月11日～10月26日
(2) 供試牛 黒毛和種成牛雌5頭とその子牛5頭
(3) 供試草地の構成と給与飼料。昭和44年度に造成した混播牧草地であるが、雑草の浸入や裸地の拡大が著しいため、55年6月に杉、桧を植栽した1.9haを供試し、牧区は7牧区と施設柵の構成で小面積集約型輪換放牧とし、成牛、子牛とも全期昼夜放牧とした。ただし、子牛はクリープベンを設置し、くみあい配合飼料育成牛用を体重(2週間毎隔で秤量)の1%を毎日制限して給与した。

3. 結果の概要
1) 草生の推移 放牧月別の産草量は表1、表2に示したとおり平均で10a当たり671±236kgとふれの度合が大きく、また牧区分では草型による産草量の差が認められた。しかし、本年の気象条件が平年と異なり冷涼で日照不足に推移したため草の生長および再生が

遅れがちで、放牧による採食量との関連から全般的に不足ぎみであった。

表-1 月別産草量 (10a 当りkg)

項目\月別	5月	6月	7月	8月
平均産草量	752±253	818±172	650±162	718±148

9月	10月	平均
619±138	469±115	671±236

表-2 牧区分別月平均産草量 (1a 当りkg)

項目\区分	1牧区	2牧区	3牧区	4牧区
平均産草量	586±135	637±142	707±149	733±208

5牧区	6牧区	7牧区	平均
713±230	618±226	482±151	639±220

2) 放牧時における体重の推移と増体量 成牛の増体は認められなかったが、子牛の発育は順調で全期間の増体が114kg、DGで0.68kgと濃厚飼料の補給効果が強く認められた。このことは放牧育成子牛の出荷体重の問題ならびに経済性、放牧面積の節減に役立つものと考えられる。

表-3 期別体重の推移 (単位kg)

期別	前期(5.11～7.6)				中期(7.6～8.31)				後期(8.31～10.26)				全期(168日間)			
	D	G	W	増体量	D	G	W	増体量	D	G	W	増体量	D	G	W	増体量
供試牛	入牧時	8	W	増体量	D	G	16	W	増体量							
成牛	445.6	454.0	24.7	0.411	440.2	440.2	-13.8									
子牛	109.2	168.8	63.0	1.125	203.0	203.0	34.2									

8.31) 後期(8.31～10.26) 全期(168日間)

D	G	W	増体量	D	G	期間増体量	D	G
-0.246	457.0	16.8	0.300			27.3		0.163
0.611	223.4	20.4	0.364			114.2		0.680

3) 牧養力について 放牧実施にあたりその利用率を70%で計画したが、TDN換算による摂取養分量の収支をみると(表-5省略)，その差がありすぎるるので、本試験での利用率は50%と考えられる。なお、1ha当りのカウディは平均で62頭であったのが、生长期の6月と枯草期の10月との差は約2倍に増加した。またGDU1頭当りの放牧所要面積は3.2haであった。(表-4省略)

4) 放牧による幼令林の被害について

昭和55年6月に植栽した杉、桧の幼令林に186日間放牧し2カ月ごとに傷害年を調査した結果、補植後の7月は5.38%と比較的少なかったが、8月から9月に16.6%に増加し、閉牧時には19.5%の被害が認められた。傷害年の増加は生长期の樹高が70cmから1m以内の範囲で立木に被害を受けているので、この時期が傷



医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材
SENJUDO
株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/022-63151(大代表)
営業所/古川・石巻・氣仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

害の受け易い樹高と考えられる。また施設との関連では放牧管理を円滑に進めるため、牛衝器、クリープペン、水飲場等が設置されている施設柵が牛の行動も頻繁となり踏みつけその他の放牧圧により53.3%の高い数値を示し裸地が形成された。なお、地況による傷害は平坦な場所において少なく傾斜の度合が進むにつれ高い数値を示し、反対に幼令林の生長は傾斜面に植栽されたものが低いところに比較して20cm程度の生長差が認められた。供試地に自生している樹種別被害では赤松の4~5年生(2~2.5m)が牛体のこすりつけによる主幹や側枝の折れが見られたが、杉の3~4年生(3~4m)では被害を受けなかった。

(研究第一部肉牛科長)



よろこばれる老人牛飼い!!

老人牛飼い事業は、県下に広く普及し、各地で好評を得ているようであるが、当管内大衡村でもこの制度をうまく活用して、肉用牛生産基盤の拡大と、老人の生きがい対策に実績をあげているので、その概要を紹介する。

大衡村は農家戸数706戸、肉用牛飼養戸数140戸で440頭を飼養しているが、うち繁殖牛は135戸、320頭と子牛生産経営の割合は比較的高くなっている。この地帯は昭和40年前半までは、あか牛が盛んで、その後は黒牛に切替ったが、農業後継者難から牛飼いを受継ぐ人がだんだん少なくなってきたところから、老人等の余剰労力を活用して肉用牛振興を図ろうとして、昭和52年と、昭和55年の2回に亘り、30頭の繁殖牛を導入貸付している。そのほかにも水田等肉用牛導入事業や農業近代化資金等で毎年30頭前後の繁殖牛を導入しているが、更にS55年から5ヶ年計画で村単独事業として優良基礎牛の貸付事業を始めており、大衡村と牛改良組合を発足させて、和牛台帳の整備、五代能力証明書の取得や指定種雄牛の精液代助成等、村当局、農協が一体となって和牛改良の基礎づくりに熱心に取り組んでいる。この村の60才以上の老人は全体の15.5%と高令者の占める割合は年々高まってきて

いる。この事業を始めるときは貨付予定の約4倍の申込みがあり、その選考には大分苦労したが、経験者で粗飼料の確保が容易な人を重点に貸付けしている。

そもそもこの村では和牛飼育は以前から高令者や婦女子の手で行なわれている例が多くあったので、事業も非常にスムーズに進み、借受者は皆深い愛情をもってキメ細かい飼養管理をしており、更に家保、農改、共済診療所、役場農協参加による巡回指導班を編成して、年4~5回飼料給与と繁殖を重点に1年に1産を目標に巡回指導を行なっている。

昭和52年の第一期導入牛15頭のうち14頭は子牛を生産し、すでに12頭が納付済となっており、一般農家の子牛生産率79%からみれば抜群の成績をあげている。牛飼いの老人は牛の手入を日課とし、山野草の採草等に精を出し、張り合いのある毎日を送っており、お蔭で健康に自信をもったと云う人も多く、又牛飼いを通じてお互いの交流も活発となり、共通の話題も多く親睦が図ると皆喜んでおり、それだけに意欲を燃やしている。息子や孫達も粗飼料の準備には積極的に協力しているところが多く、家庭の円満にもつながっていると云う。このようにして老人牛飼いの輪はだんだん広がっており、村内の繁殖和牛の増殖に大きな力となりつつある。近い将来には老人牛飼いだけの共進会開催も計画されているので今後大いに期待されるものがある。

肉用牛の子牛生産部門はその零細性と、子牛収入が唯一の収入源と云う性格から収益性も低く、他の家畜からみれば桁外れに経営拡大は遅れており、経営形態も低く評価されてきた。

しかしその存在には歴史的背景のあることを十分認識するとともに、肉用牛でなければ利用できない粗飼料資源の活用、堆肥の農地や還元による地力維持、公害発生の防止及び老人、婦女子の遊休労力の活用等、その有利性はかなり多い。更に子牛生産は、これら零細経営が支えている現実から、この事業の普及拡大は、案外肉牛生産増強に大きな戦力となると思われるのでは、この対策を更に積極的に推進する必要があろう。

(仙台家畜保健衛生所 大友 昭二)

くみあい専属利用登録を しましよう

- * 飼料価格安定基金には全戸加入
- * 畜産物価格保証制度には全量加入



農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL 029-7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩原1

02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909-9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018-9



松本渡氏

(宮城県農業公社常務理事)

昭和18年に学校(日獸)を出て、最初に入ったのが仙台市役所、1年足らずで県に勤務、以来54年3月農政部参事兼畜産課長を最後に勇退されるまで35年間畜産行政一筋に歩んでこられた。第2の職場も県食肉流通公社、そして農業公社と、生涯畜産とは縁が切れないらしい。生糞の畜産育ちとでも云うべき1人である。県に畜産課が出来たのが1919年、当時は馬産時代で馬関係の仕事が主であった。氏も馬の生産率増進、骨軟症防止事業を担当、馬の繁殖期には花山村に駐在し、人工授精や妊娠鑑定に精を出した。酒はその頃ドブロクで鍛えたようだ。長らく本庁で衛生係をした後、31年から遠田、大崎家保所長として地方勤務を経て、38年再び畜産課生産係長に戻られ家畜改良・肉畜振興対策に努力された。46年に大河原家保所長、そして49年畜産試験場長を歴任され、52年・非常に多難な時期の畜産課長に就任・退任までの2年間、本県畜産振興に敏腕を振わされた。なかでも総合食肉流通センター建設には最も心血を注がれたが、その縁で勇退後、食肉流通公社の専務理事に迎えられ最後の仕上げに大変苦労された。56年6月から現職の農業公社常務理事として畜産事業に情熱を燃やしている。氏の若い頃のエピソードは数多い。江戸っ子口調の歯切れのいい言葉から東京人かと思われるが、純粹の仙台生れである。現役時代からみれば大分酒量が落ちたが、興に乗れば童謡をアレンジし、踊りを入れて如何にも楽しそうに唄う様は格別である。フロアーであれば軽快なステップでリズム感溢れる踊り方には定評がある。最近白いものが目に付くようになったが、運動センスは抜群で、まだまだ若い者には負けない敏捷さを持っておられるので、健康管理のためにも是非ゴルフをお進めしたい。今後益々御自愛されて畜産振興のため一層の御尽力をお願いします。

(星)

単身赴任もまた楽しからずや

昔から“光蔭矢の如し”と言われているが、私の最初の単身赴任先は白石牧場であった。ついで岩出山牧場、築館家保、石巻家保と、華麗なる単身赴任生活も今年で9年目に入った。

いまふり返ってみると、それぞれに思い出多い職場であった。牧場では朝な夕な雄大な景観を眺めながら、四季折々の風物を肌で感じじることができた。とくに天気の良い日など、草を噛む牛の群を眺めながら、食べる自炊弁当の味は格別美味なものであった。

また、趣味と実益を兼ねた“山菜採り”も、私にとっては忘ることのできない楽しみの一つであった。山菜採りは、私に山野草の知識を教えたばかりでなく、人々とのコミュニケーションを深めるうえからも益するところが多かったように思う。

以下に、私の山菜についての博識ぶりの一端を披露しておきたい。山の幸の前奏曲はフキノトウで始まる。それからが本格的な交響曲にうつり、タラッポ、ゼンマイ、ワラビ、山ウド、コゴミ、フキと、われ先に出始めるので、この時期になると山菜摘みも多忙を極めることになる。

昔から“初物を食べると七十五日長生きする”と言われているが、長く厳しい冬を越してきた山菜には、ビタミンや灰分が豊富に含まれており、古くから滋養強壮剤として愛用されていたのである。

例えばフキノトウであるが、これは根をつけたまま茎干しにし、煎じて飲めばセキ止めやぜんそくに効くばかりでなく、解熱剤、健胃剤としても効果があることは広く知られているが、その後の私の研究?結果によれば、調剤の方法によっては、魚中毒や打身の際の痛み止め、外傷にも薬効があることが判明している。

次はフキノトウだが、……と話を続けたいところだが、紙面の都合上残念ながら山菜の話はこの辺で打ち止めにする。

さて、現在は石巻合併の単身寮で生活しているが、今度は海の幸に恵まれたのである。第一仙台で食べる魚と鮮度がちがうのである。しかし老いたりといえども私は畜産人である。このおいしい魚を横目でにらみながら、勿ら畜産物の消費拡大と転作推進のために、公所の方々と、焼酎の牛乳割りを片手に、農政問題や仕事ぶりなどを拝聴しながらコミュニケーションをはかっているのである。土帰月来の長旅が続くと、子供の話題を通して家庭のことがさり気なく話題に出てくるところをみると、他の人達もそれぞれ家庭のことを心配しているのだなあ!!と思う今日この頃である。

(佐々木明)

畜産みやぎ
畜産みやぎ

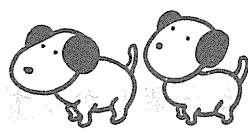
多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



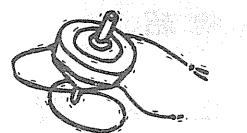
株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号



賀

春



宮城県農業協同組合中央会長
宮城県経済農業協同組合連合会長
宮城県信用農業協同組合連合会長
宮城県畜産農業協同組合連合会長
宮城県農業共済組合連合会長
宮城県生乳販売農業協同組合連合会長
宮城県農業公社理事長
宮城県綿羊農業協同組合連合会長
宮城県草地協会会長
宮城県獣医師会会長
宮城県酪農協会会長
宮城県ホルスタイン協会会長
日本軽種馬協会宮城県支部長
日本種豚登録協会宮城県支部長
日本あか牛登録協会宮城県支部長
全国和牛登録協会宮城県支部長
宮城県肉用牛協会会長
宮城県家畜産物衛生指導協会会長
宮城県乳業協会会長
宮城県家畜商協同組合長
宮城県養鶏協会会長
宮城県ホルスタイン改良同志会長
宮城県家畜人工受精師会長
宮城県肉用牛価格安定基金協会会長
宮城県畜産物価格安定基金協会会長
宮城県畜産会長

木村秀寿
佐藤山作
佐藤永一
大石治
鎌田安治
米倉雄
高橋三郎
斎藤次郎
二瓶助泰
鈴木新
佐木利吉
佐藤太郎
大石吉一
勝又助
佐藤利一
佐藤英一
百井崇
横山吉
佐藤利一
大石一夫
岩谷正太郎
鈴木遠治
佐藤真一
山本壯一郎
佐藤鐵山
百井英一

(順不同)

応援します。お母さんと赤ちゃんの健康。
妊産婦の方に牛乳を特別価格でお届けします。

お申込みいただいた月の翌月1日から2か月間、200ml入りを毎日1本、通常の家庭配達価格から20円引きでお届けします。

- 対象 妊娠中、または出産後1年以内の方。
- お申込み期間 昭和56年7月から昭和57年2月28日まで。(昭和57年2月中にお申込みの場合は、3月ひと月分とさせていただきます。)
- お申込み方法 母子健康手帳をご持参の上、お近くの家庭配達をしている牛乳販売店にお申込みください。

川柳

- 畜産課 山木 たみ
平 凡
1. 働いて たしなんで足る 人を選る
2. カレーライス 上手に作る 妻でよい

宮城県牛乳普及協会